

講義内容と日程

日程	回数	午前① 9:30-11:00 (2コマ)	午後② 11:10-12:40 (2コマ)
7/2 (日)	1	【講義Aゼロ】「難民等」概論 武蔵大学社会学部 准教授 人見泰弘	【講義Cゼロ】「難民等に対する日本語教育」概論 ※研修についての説明 (社福) さほうと 2 1 矢崎理恵
7/9 (日)	2	【講義A2】 日本の難民等受入れの経緯と基本的な受入れ方針・体制等 (公財) アジア福祉教育財団 難民事業本部 鈴木功	【講義C3】 中国帰国者に対する日本語教育 首都圏中国帰国者支援・交流センター 小川珠子
7/16 (日)	3	【講義A1】 世界における難民等の現状 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日事務所 葛西伶	【講義C1】 難民等に対する日本語教育 (公的な支援を中心に) (公社)国際日本語普及協会 (AJALT) 小瀧雅子
7/23 (日)	4	【講義A3】 日本における難民等の現状 FRJ なんみんフォーラム 檜山怜美	【講義C2】 難民等に対する日本語教育 (公的な支援以外を中心に) (社福) さほうと 2 1 矢崎理恵
7/30 (日)	5	【演習ゼロ】 難民等に対する日本語教育に必要な知識・技能・態度を身に付けていくには 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	【演習1】 積極的傾聴 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生
8/6 (日)	6	【講義B1】 日本における難民等の多様性① 認定NPO法人 難民支援協会 (JAR) 鶴木由美子	【講義B5】 難民への理解を深める 一臨床心理学の視点からの理解一 大正大学社会共生学部公共政策学科 教授 鶴川晃
8/13 (日)	7	【講義B2】 日本における難民等の多様性② (社福) さほうと 2 1 研修コーディネーター 田中美穂子	【演習2】 異文化調整能力・課題の共有・評価とフィードバック 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生
8/20 (日)	8	【講義D1】 難民等の社会参加 (社福) 日本国際社会事業団 常務理事 石川美絵子	
8/27 (日)	9	【講義B3】 難民等の異文化受容・適応(ケースメソッド) 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	【講義B4】 難民への理解を深める 一言語学習者としての側面から一 国立国語研究所 日本語教育研究領域 野山広
9/3 (日)	10	【演習特2】 難民当事者との対話<本番> ※対面 (社福) さほうと 2 1 研修コーディネーター 田中美穂子	できる限り、対面での参加をお願いいたく存じますが、ご事情によりどうしても対面参加が難しい方のために、別日程でオンラインでの実施を予定しております。
9/10 (日)	11	【演習特1】 日本語教育の実践の現場を見学 (振り返り) (社福) さほうと 2 1 研修コーディネーター 田中 美穂子	【演習3】 難民等に対する日本語教育や難民支援実践者の「わざ」を記述する 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生
9/17 (日)	12	【講義D2】 難民等のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語教育 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	
9/24 (日)	13	【演習特2】 難民当事者との対話<振り返り> (社福) さほうと 2 1 研修コーディネーター 田中美穂子	
10/1 (日)	14	【演習4】 私にとって「難民等に対する日本語教育とは」／教師として学び、成長し続けるために 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	
7月～8月		【見学】 難民等への日本語教育を行う機関を訪問、見学	実習は期間内に、全450分(10単位相当)のオンラインでの個別指導となります。日程は個別に調整させていただきます。実習アドバイザーが伴走します。
8月～1月		【実習】 田中美穂子 他	